

「郷土神奈川」総目次 創刊号～第50号

凡例： この総目次は、創刊号（昭和49年）～第50号（平成24年）までの本誌論文、随筆等を収録した。

記載事項：号数、執筆者、題名、項目（〈論文〉 〈随筆〉 〈資料紹介〉等）の順となっている。

創刊号（昭和49年1月）

武田英治

「発刊のあいさつ」

竹内理三

「「郷土神奈川」の創刊を祝す」

高村象平

「地方史について」

見上敬三

「神奈川県地質とその生い立ち」

服部清道

「石造物とその遺跡序説」

永田衡吉

「民俗芸能随筆」〈随想〉

小松郁夫

「武蔵国南多摩郡上壺分方村文書」

〈資料紹介〉

2号（昭和49年3月）

村上直

「江戸幕府直轄領と代官支配」

高橋恭一

「江戸幕府の軍艦咸臨丸と浦賀」

山中裕

「万葉と神奈川」

朝比奈貞一

「随想」〈随想〉

手塚実

「武蔵国橋樹郡北綱島村飯田家文書」〈資料紹介〉

3号（昭和49年8月）

小川祐久

「かながわの古墳について」

下山治久

「後北条氏の侍と合戦」

高木侃

「明治初年の縁切寺東慶寺」

鈴木秀男

「鳥と人と」〈随想〉

小沢弘

「飯田九一家寄託資料（軸物）」

〈資料紹介〉

4号（昭和49年10月）

三浦勝男

「鎌倉築港」

沼謙吉

「三多摩郡移譲の政治的経緯」

山上貞

「郷土を書く」〈随想〉

岩崎正純

「『箱根御関所日記書拔』について」〈資料紹介〉

深瀬昭一

「武蔵国橋樹郡小倉村御霊屋料岸家文書」〈資料紹介〉

5号（昭和50年10月）

木村礎

「近世神奈川の地域的特質についての覚書」

渡辺和敏

「近世における津久井地方の関所と番所」

川崎万博

「復活した湘南海岸の松林」

<随想>

小松郁夫

「足柄上郡金井嶋村瀬戸家文書」

<資料紹介>

6号（昭和51年2月）

児玉幸多

「近世の神奈川県下の交通」

山中清孝

「関東取締出役と相武の改革組合村々」

石井光太郎

「本をよむ人よまぬ人」<随想>

三輪修三

「河崎郷山王社の中世末期関係資料」<資料紹介>

石橋正子

「『協救社衍義草稿』第1～35号」

<資料紹介>

7号（昭和51年11月）

内山稔

「二宮尊徳の近代性」

篠原宏

「開港初期横浜の郵便制度」

浅香幸雄

「神奈川県歴史地理雑考」<随想>

小松郁夫

「武蔵国都筑郡片平村安藤家文書」

<資料紹介>

8号（昭和52年12月）

湯山学

「堀越公方と相模国」

青木茂

「横浜絵－明治洋画・五姓田派－」

岡田正太郎

「遅日庵宝を整理して」<随想>

9号（昭和54年3月）

斎木秀雄

「中世鎌倉の街遺構－若宮大路周辺の発掘調査から－」

岩崎宗純

「箱根細工における工芸技法の展開」

木下馨

「横浜吉田新田字一ツ目沼地の埋立について」

木内一郎

「回想 横浜地方裁判所庁舎」

<随想>

田島光男

「後北条氏文書六点」

<所蔵資料紹介>

10号（昭和55年3月）

貫達人

「鎌倉幕府と御家人」

中田英

「神奈川県における古代集落研究の現状」

藤井澄三郎

「『中区吉浜町』の思い出のことごと」<随想>

石橋正子

「『夜半鐘声』－マリア・ルーズ号事件の一資料」<資料紹介>

11号（昭和56年3月）

安藤良雄

「日本資本主義と神奈川県経済」

浅井潤子

「古文書への誘い」

石橋正子

「二ヤの紙」〈随想〉

田島光男

「鎌倉の廃寺に関する一史料－保寧寺－」〈資料紹介〉

12号（昭和57年3月）

森連

「歴史資料としての公文書」

湯山学

「鶴岡八幡宮文書考－鎌倉時代を中心に－」

大畑哲

「都市民権の提唱」〈随想〉

小松郁夫

「酒匂川治水の地方巧者蓑笠之助と大岡越前守」〈資料紹介〉

13号（昭和58年3月）

小坂昭三

「開館十周年記念号によせて」

木村礎

「文化資料館への期待」

丹羽邦男

「県史事業の終結と文化資料館の今後の課題」

西垣晴次

「大山とその信仰」

竹内理三・児玉幸多・霜山富士夫・

羽毛田潔・小坂昭三

「開館十周年を迎えて」〈座談会〉

14号（昭和59年3月）

岩澤愿彦

「越相一和について－「手筋」の意義をめぐる－」

金原左門

「近代神奈川と社会史の構想」

太田愛人

「『もう一人のクラーク』逸聞」

〈随想〉

佐々井典比古

「三浦三崎の報徳仕法」〈随想〉

石橋正子

「『秋錦山房詩鈔』－平塚梅花と中国人たち－」〈資料紹介〉

田島光男

「古義真言宗総持院所蔵聖教奥書についての覚」〈資料紹介〉

15号（昭和59年11月）

小坂昭三

「発刊にあたって」

土井浩

「新肴場とその付浦－史料と一・二の問題－」〈論文〉

和田正洲

「近世文書と民俗－作物帳をめぐる－」〈論文〉

岩倉規夫

「神奈川県と私」〈随想〉

山口祥之

「厚木市史編集について」

〈市町村史編集の動向〉

青木友彌

「石工宮龜年の事蹟と生涯」

〈研究ノート〉

小松郁夫

「武蔵国都筑郡早野村の駕籠訴状について」〈資料紹介〉

田島光男

「二階堂氏故地懐嶋・二階堂村見聞記」〈資料紹介〉

16号（昭和60年3月）

前坊洋

「福沢諭吉と浦賀・横浜など」
〈論文〉
今井清一
「二・二六事件前後の神奈川県特高
関係文書」〈論文〉
霜山富士夫
「横浜貿易新聞の十四年」〈随想〉
小沢公生
「南足柄市史編さんの状況」
〈市町村史編集の動向〉
石原一則
「『神奈川県特高関係史料』につい
て」〈資料目録〉

17号（昭和60年11月）

山室清
「わが郷愁の久良岐」〈随想〉
安澤秀一
「史料保存利用施設の地方的意義－
国際的関連において－」〈論文〉
永野勝康
「相州沿岸警備諸藩の藩校につい
て」〈論文〉
小松修
「幕末期多摩川流域の取締につい
て」〈論文〉
石井修
「文書館の施設及び業務について－
藤沢市文書館の場合－」
〈施設紹介〉

18号（昭和61年3月）

西村孝昭
「歴史事象を見る」〈随想〉
圭室文雄
「『大山不動靈験記』に見る大山信
仰」〈論文〉
中野光浩

「武蔵・相模の東照宮－民間で祀る
事例を中心に－」〈論文〉
福田須美子
「大江卓と近代女子教育の曙」
〈論文〉
樋口雄一
「通常県会・参事会議案原稿文書」
〈資料紹介〉

19号（昭和61年11月）

間宮武
「史実についての一心理学者の愚
言」〈随想〉
小和田哲男
「後北条氏築城技法の特色－いわゆ
る障子堀を中心に－」〈論文〉
長田かな子
「古文書にみる相模原のおんなた
ち」〈論文〉
田村泰治
「もう一つの横浜外人墓地－市営根
岸外国人墓地に関する考察－」
〈論文〉
田邊武敏
「文書館の施設及び業務について－
川崎市公文書館の場合－」
〈施設紹介〉

20号（昭和62年3月）

望月一樹
「南武蔵における古代寺院の造営－
川崎・影向寺を事例として－」
〈論文〉
服部清道
「『横浜みやげ』書誌考」〈論文〉
大畑哲
「明治民権家の治水思想－福井直吉
の『治水総論』－」〈資料紹介〉

ノーマン・A・グレブナー
永野勝康 訳
「占領政策と横浜の学校」

21号（昭和63年2月）

大湖賢一
「『神奈川県公報』にみる初期神奈川県政－野村靖県政を中心に－」
＜論文＞
菊池俊夫
「横浜近代造船史・前史 旭日丸と横浜」＜論文＞
福田アジオ
「若者組の活動と若者条目」
＜論文＞
石橋正子
「神奈川県・書誌の書誌」
＜資料紹介＞

22号（昭和63年3月）

吉見周子
「小兒人身売買と海外醜業婦の実態－明治期の新聞を中心に－」
＜論文＞
高橋正一郎
「天明七年津久井・土平治騒動研究史覚書」＜論文＞
小松郁夫
「相模国愛甲郡下荻野村千葉家 修験関係資料について」＜資料紹介＞
松尾公就
「報徳博物館の施設および業務」
＜施設紹介＞
田島光男
「神奈川県立文化資料館所蔵文書の紹介－収蔵概要その2－」

23号（昭和63年11月）

金原左門
「柏木忠俊と福沢諭吉」＜随想＞
丹羽邦男
「公文書館の原点－一村落での文書保管－」＜論文＞
小泉宜右
「朴艾思淳の履歴について」
＜論文＞
黒田基樹
「北条氏規による三浦郡支配の成立」＜論文＞
田島光男
「豊前氏古文書について－古河公方足利氏文書・小田原北条氏文書の紹介－」＜資料紹介＞
江藤篤
「資料保存と町史編さん」
＜市町村史編集の動向＞

24号（平成元年3月）

浅井潤子
「改元考」＜随想＞
石渡隆之
「横須賀市内の最古の庚申塔」
＜論文＞
福島金治
「金沢称名寺領上総国高柳村について」＜論文＞
三輪修三
「川崎市市民ミュージアム」
＜施設紹介＞

25号（平成元年11月）

石塚裕道
「京浜工業地帯成立史研究覚書」
＜論文＞
井上弘
「地方における選挙粛正運動の展開」

一九三七年の小田原町会議員選挙
-」<論文>

樋口雄一

「昭和二十二年『知事引継演述書』
<資料紹介>

26号 (平成2年3月)

百瀬今朝雄

「北条(金沢)顕時寄進状・同書状
案について」

森幸夫

「相模土屋氏について」<論文>

岩崎学

「応永の乱と鎌倉府-山内上杉氏の
行動を中心にして-」<論文>

山口博

「後北条領の『納法』に関する若干
の問題について」<研究ノート>

石橋正子

「神奈川県・書誌の書誌2」

<資料紹介>

27号 (平成2年12月)

高田稔

「神奈川の寺子屋-筆子塚調査を中
心にして-」<論文>

澤野泉

「『古今著聞集』における武士関係
説話について」<論文>

小松郁夫

「幕末・開港期の御用留~相模国三
浦郡大津村小川家文書より~」

<資料紹介>

28号 (平成3年2月)

今井清一

「ぬりえの地域誌」<論文>

長田かな子

「昭和不況下の農家に嫁いで-『女
でねえように働いた』石井クマさん
の話-」

石原一則

「史料編成と目録記述」

<資料紹介>

29号 (平成3年12月)

千賀瑛一

「主婦グループの郷土史出版」

<随想>

小澤光孝

「旗本領農民の石高所持の変遷につ
いて-相模国大住郡西富岡村につ
いて-」<論文>

鈴木芳行

「明治前半期の地方官社会とある収
税官吏-神奈川県『官員履歴』を素
材にした分析-」<論文>

成川禎藏

「日本波止場 横浜」

<研究ノート>

30号 (平成4年3月)

植田廉之助

「メディアの興亡」<随想>

池上裕子

「武田氏滅亡から『足柄当番之事』
へ」<論文>

天川晃

「内山知事と特別市制問題」

<論文>

田島光男

「上杉氏家中山吉氏文書の伝来につ
いて」<資料紹介>

佐々木徹

「草創期の社会教育資料-通俗教育
から社会教育へ-」<資料紹介>

31号（平成4年12月）

20周年記念号

特集 地域史研究の現状と課題

山本弘文

「地域史研究の課題」

<特集に寄せて>

鳥養直樹

「神奈川の古代地域史研究の潮流」

伊藤一美

「都市鎌倉の比較史研究（鎌倉期）」

下山治久

「戦国時代（後北条氏）に関する地域史研究－ここ十年の後北条氏研究の動向－」

神崎彰利

「県内の地誌を編纂して－近世史の側面から－」

小松郁夫

「神奈川の近世地域史研究の流れ－二〇年をふりかえって－」

金原左門

「県史と地域史研究－近現代史のケース－」

樋口雄一

「神奈川の近・現代史研究」

高野修

「『郷土神奈川』と地域研究」

田島光男

「小田原北条氏の蹴鞠に関する史料」<資料紹介>

県民総務室公文書館建設準備担当

「神奈川県立公文書館（仮称）のオープンに向けて」

32号（平成6年3月）

青木美智男

「神奈川県史が残した遺産に生きる」<随想>

坂井久能

「神奈川県における神社整理政策の展開」<論文>

江刺昭子

「富士瓦斯紡績保土ヶ谷工場の女工の労働状態－協会の調査報告から－」<論文>

石橋正子

「資料 マリア・ルス号事件」

<資料紹介>

椿みどり

「神奈川県内郷土史研究団体の主な機関誌について」<資料紹介>

33号（平成7年3月）

小柴俊雄

「山崎紫紅－家庭人として劇作家・政治家として－」<論文>

佐藤和夫

「戦国時代の水軍梶原氏」<論文>

鈴木康弘

「箱根地域における別荘地開発について」<論文>

石橋正子

「同善堂中華会館－初代関帝廟のこと－」<研究ノート>

34号（平成8年3月）

飯塚一雄

「横浜スカーフの歩み－職人が築いた世界的商品－」<論文>

吉田鋼市

「神奈川のホテル・旅館建築（明治・大正・昭和戦前）」<論文>

小宮まゆみ

「神奈川県内の外国人抑留所」<論文>

小丸俊雄（読解）

『箱根浴湯記』<資料紹介>

35号 (平成9年3月)

高橋雅雄

「公園制度と神奈川の公園瞥見」
<論文>

山田吉郎

「前田夕暮と秦野－郷土のなかの文学形成－」<論文>

柏木操男

「足柄県令柏木忠俊の足跡」
<論文>

品川文彦

「近世武相名物探訪」<随想>
石橋正子

「かながわの出版(1)」
<資料紹介>

36号 (平成10年3月)

長島保

「川崎市妙遠寺の泉田二君功德碑－
四ヶ領用水四〇〇年に寄せて－」
<論文>

早坂昇治

「近代日本の夜明けと競馬」
<論文>

加藤勝仁

「神奈川県内の近年の発掘調査から」<論文>

諸角英彦

「芸術村が10年目に」<随想>
石橋正子

「かながわの出版(2)」
<資料紹介>

37号 (平成11年3月)

島村利明・浅野寛(共同執筆)

「入谷歌舞伎の再興」<論文>

浪川幹夫

「中浜東一郎と鎌倉－『中浜東一郎
日記』を中心に－」<論文>
日野原定男

「下村観山碑を本牧につくる－市民
運動による募金活動で実現－」
<随想>

神谷まさ子

「神奈川郷土資料集成第十三輯『神
社明細帳(三浦郡)』」<資料紹介>

38号 (平成12年3月)

鳥居和郎

「小田原合戦と石垣山一夜城－東国
に出現した西国文化の城－」
<論文>

永井晋

「北条顕時十三回忌諷誦文案とその
紙背文書」<論文>
三浦礼子

「東海道貨物支線試乗記」<随想>
土屋定夫

「鎌倉文庫の出版物と参考文献につ
いて」<研究ノート>

39号 (平成13年3月)

中西淳朗

「近代横浜医学への歩み－松山棟庵
と松山不苦庵義定まで－」<論文>
森田郷平

「松竹大船撮影所のことあれこれ」
<論文>

岩脇淑郎

「高濱虚子と神奈川－桐一葉日当り
ながら落ちにけり－」<論文>

西松凌波

「『ほんぼり(雪洞)祭』につい
て」<随想>

40号 (平成14年3月)

錦昭江

「鎌倉期における円覚寺領の形成過程」<論文>

平田恵美

「鎌倉アカデミアの人々」<論文>

樋口雄一

「神奈川県内養豚業の展開－昭和二十年代の養豚 綾瀬町を中心に－」

<論文>

高野修

「遊行寺と一遍上人」<随想>

41号 (平成15年3月)

打越孝明

「大倉邦彦と横浜」<論文>

遠藤勢津夫

「真鶴の小松石－その採掘の歴史と社会的歴史的役割－」<論文>

丸岡澄夫

「横浜の映画館史」<随想>

沢村光一

「加藤正氏旧蔵資料」<資料紹介>

42号 (平成16年3月)

原淳一郎

「大山参詣に見る近世の旅－旅日記の分析を通じて－」<論文>

田辺千代

「日本のステンドグラス史 神奈川のステンドグラス」<論文>

田代博

「神奈川から眺める富士山」

<随想>

芳賀こずえ

「大山道関係資料について」

<資料紹介>

43号 (平成17年2月)

笹原亮二

「民俗芸能と文字テキスト－神代神楽諸家に伝わる筋書きを巡って－」

<論文>

佐藤嘉明

「神奈川県庁本庁舎について－原設計者の経歴とデザインにおける国会議事堂との関係－」<論文>

鳥居民

「県立図書館に通っての思い出」

<随想>

44号 (平成18年2月)

高橋秀樹

「吾妻鏡と和田合戦」<論文>

乙部純子

「横浜外国人居留地における日本人経営事務所の進出とその背景－Japan Directoryの分析から－」

<論文>

宇津木三郎

「中国の若き尊徳研究者へ」

<随想>

柿澤淳子

「『吾妻鏡』の伝本と刊本出版の歴史について」<関連資料解説>

45号 (平成19年2月)

真鍋淳哉

「江戸湾をめぐる後北条氏と房総里見氏との関係－『新横須賀市史』編さんの成果から－」<論文>

東谷護

「横浜の音楽文化－占領期・戦後復興期を中心に－」<論文>

酒井忠康

「ケムニッツの夕べ－もう一つの

『近代』について－」〈随想〉

関誠二

「日本のジャズ発祥の地はどこか－
文献にさぐる日本のジャズ事始め
－」〈関連資料紹介〉

46号（平成20年2月）

上島国澄

「相模の地における小田原鑄物の歴史文化と今後」〈論文〉

千葉真由美

「名主日記にみる村の文書と捺印－
座間宿村庄右衛門の元文四年日記から－」〈論文〉

伊東洋

「横浜の秘めたる花火史－西洋花火の開祖・平山甚太を慕って男惚れ－」〈随想〉

47号（平成21年2月）

田村泰治

「横浜掃部山公園 井伊直弼銅像建立をめぐる紛争と事件の顛末」

〈論文〉

城川隆生

「丹沢山麓の中世の修験とその関連史料」〈論文〉

岡山理香

「神奈川県ゆかりの建築を訪ねて－
宮ノ下・富士屋ホテル－」〈随想〉

古根村政義

「飯田九一文庫より 中島亭齋資料」〈資料紹介〉

48号（平成22年2月）

田沼光明

「中島敦の文学にあらわれた教育的視座」〈論文〉

芝田英行

「漂着犬骨から中世鎌倉のイヌを想う」〈論文〉

小野塚徳博

「厚木シロコロ・ホルモン探検隊物語」〈随想〉

49号（平成23年3月）

久野淳一

「鎌倉郡大正村・一号国道ダブルウェイの誕生」〈論文〉

大石三紗子

「東海道藤沢宿はどこから馬を集めたか－馬持の分布と地理的条件に関する一考察－」〈論文〉

大石修治

「神奈川フィルハーモニー管弦楽団の40周年と未来に向けて」〈随想〉

50号（平成24年2月）

松隈洋

「『神奈川県立図書館・音楽堂』と建築家・前川國男の求めたもの」

〈論文〉

斎藤多喜夫

「鎌倉ハムとその周辺」〈論文〉

中村雅之

「『思い』を積み重ねた横浜能楽堂の十五年」〈随想〉